



古美術品に手震えた

貴重な宝石見て触れて

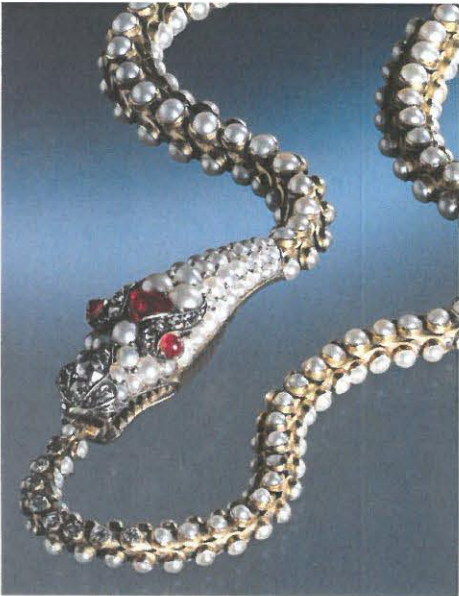
真珠博物館秘蔵品を紹介

「本当に触ってもいいんですか」。鳥羽市のミキモト真珠島の真珠博物館で6日に始まった秋の新講座の「真珠博物館でアンティ-

クジュエリーを楽しむ90分」。受講生の女性は恐る恐る、けれども、うれしそうに目を輝かせながら、博物館秘蔵の高価なネックレスに

触れた。これまで一般の人は、展示ケースのガラス越しにしか見られなかったジュエリーが手の上に。初回のテーマは「蛇のジュエリー」で、英国の19世紀のネックレス2点と、ブローチ2点が、受講生に提供された。

トルコブルーのエナメルで飾られた英国19世紀中期のネックレス。口元にハート形のペンダントが付いている



19世紀の英国のネックレス。蛇の胴体が首の周りを取り巻く形で装着する



「蛇のジュエリーは、向かってくる魔物に対峙して身に着けた本人を守るという意味がある」「自分の尾を口でくわえる蛇をウロボロスといい、円環となっていることから生と死を結びつけて永遠を表す象徴的な

「蛇のジュエリーは、向かってくる魔物に対峙して身に着けた本人を守るという意味がある」「自分の尾を口でくわえる蛇をウロボロスといい、円環となっていることから生と死を結びつけて永遠を表す象徴的な

意匠です」。ゆつくりと穏やかな口調で説明が続いた。

午後一時から約一時間半。受講生は時間を忘れて、ハンドリングに熱中し、説明に耳を傾けた。終了後、「次回以降、どんなジュエリーに出合えるのか、とても楽しみ」などと感想を述べていた。

3カ月講座で、2回目は11月10日、3回目は12月1日。いずれも金曜日。受講料は3カ月で9000円(税別)。ジュエリーのハンドリングができるほか、真珠の基礎知識が学べます。ミキモト真珠島との提携講座。

「本能寺の変」背景に將軍!!

三重大・藤田教授の講座



「マはずばり「信長と將軍義昭」本能寺の変研究の現在」。受講生は、最前線の話に聴き入った。

本能寺の変などの研究者として知られる三重大教育学部の藤田達生教授(写真)の歴史講座が13日、始まった。織田信長を討った明智光秀の動機を解明する研究の最前線にいる学者で、テ

14年6月の新資料発見の発表で、信長の四国出兵ギリギリの時点まで、四国大名の長宗我部元親が姻戚関係にあった光秀の重臣を紹介して、信長と交渉していたことが明らかになっている。光秀の最終的な政治的

選択の背景には、京都奪還を目指す將軍足利義昭の存在があった。講座では、全6回にわたり、信長と義昭の10年に及ぶ対立の中から、本能寺の変へと至る政治過程の詳細を話す予定だ。

第2金曜午前10時から11時30分。6カ月1万800円(税別)。

風刺利かせ楽しく

10月から初の川柳講座

全日本川柳協会常任幹事の宮村典子さんによる秋の新講座「楽しもう川柳」が12日、始まった。津中日文化センターでは、初めての川柳講座。講師の選定では、県内だけでなく、全国的にも活躍する宮村先生に白羽の矢が立った。

「川柳の対象は人。毎日の生活を前向きに見て、感じる。ことよって日々の出来事を、ユーモアたっぷりと風刺を利かせてつづりましょう」と宮村先生。終始、笑顔を絶やさず、明るい雰囲気ではきはきと話し、受講生に的確に指導した。

受講生からは「ウオーキング朝の公園一人占め」「お陽さまを食べてふっくらする枕」「カラフルなサラダ瞳で



「ユーモアたっぷりに」と語る宮村講師



多くの来場者でにぎわう会場

講座のお申し込みは〒514-0009津市羽所町官有地津駅チャムビル地下1階、津中日文化センター。電話059(225)8411へ。定期講座の入会には入会金3500円が必要。金額はすべて税別表記です。20分程度見学可能な講座があります。詳しくはお問い合わせください。

「連音の会作品展」画家の坂本泰連さんが指導する津中日文化センター絵画教室の生徒らの作品展が5日から29日まで、津市の県立美術館県民ギャラリーで開かれた。坂本さん夫婦と、生徒64人が出品。個性豊かに制作された水彩画、油彩画などが並んだ。